

2.7 市政だよりについて

(1) 市政だよりの閲読状況

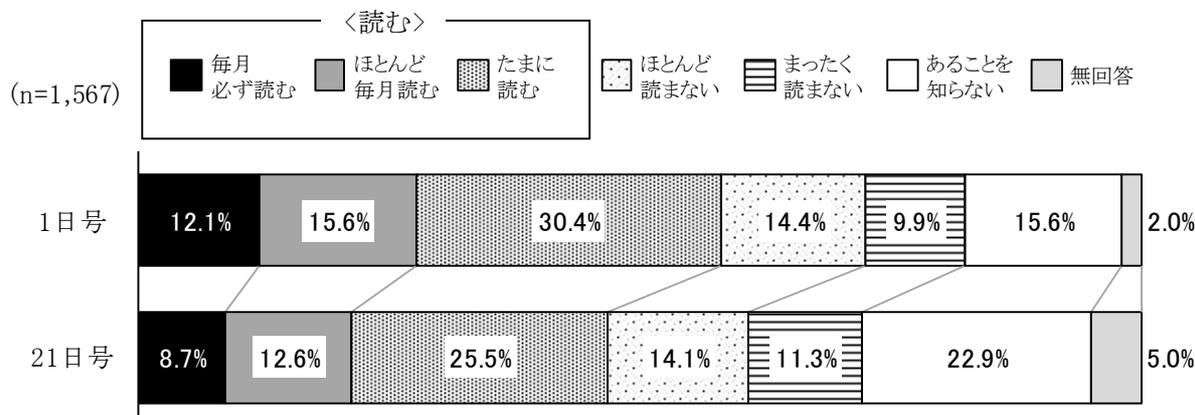
川崎市では、市民向け広報紙として「かわさき市政だより(以下、市政だより)」を月2回(1日号・21日号)発行し、1日号は町内会・自治会等のご協力により、21日号は新聞折り込みで配布しています。

問. あなたは毎月発行している市政だよりをどのくらいの頻度で読んでいますか。

全体(n=1,567)では、「市政だより1日号」を「毎月必ず読む」が12.1%、「ほとんど毎月読む」が15.6%、「たまに読む」が30.4%で、これらを合わせた〈読む〉は58.1%であった。

「市政だより21日号」については、「毎月必ず読む」が8.7%、「ほとんど毎月読む」が12.6%、「たまに読む」が25.5%で、これらを合わせた〈読む〉は46.7%であった。

【図表 138】 市政だよりの閲読状況



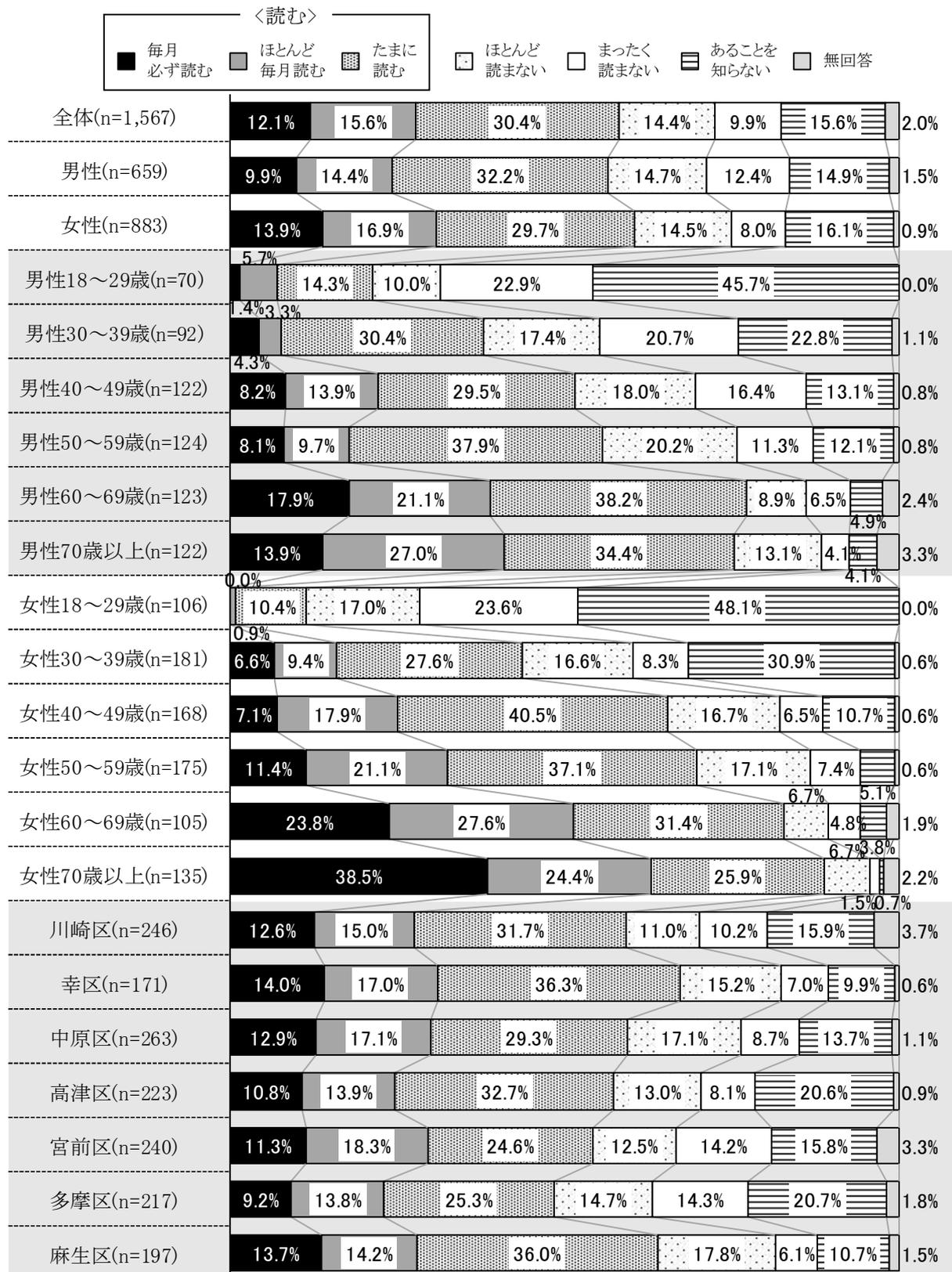
※ 市政だよりの閲読状況については、令和元(2019)年度かわさき市民アンケートの第1回調査と第2回調査で同じ設問文を使用しました。
これは、インターネットモニター調査(第1回調査)と層化二段無作為抽出による標本調査(第2回調査)の結果傾向を蓄積し分析していくことを目的に行ったものです。

① 「市政だより1日号」の閲読状況

性／年齢別で見た場合、「市政だより1日号」を〈読む〉は、男女ともに年代が上がるにつれ高くなる傾向であった。

居住区別では、幸区と麻生区で「市政だより1日号」を〈読む〉が6割を超えた。

【図表 139】 市政だより1日号の閲読状況(性／年齢別、居住区別)



② 「市政だより21日号」の閲読状況

性／年齢別で見た場合、「市政だより21日号」を〈読む〉は、男女ともに年代が上がるにつれ高くなる傾向であった。

居住区別では、幸区と麻生区で「市政だより21日号」を〈読む〉が5割を超えた。

【図表 140】 市政だより21日号の閲読状況(性／年齢別、居住区別)



③ 市政だよりの閲読状況と市民館の利用経験

市政だよりの閲読状況別に市民館の利用経験を見てみたところ、市政だよりの閲読頻度が高いほど市民館を「利用したことがある」が高い傾向であった。

【図表 141】 市民館の利用経験(市政だよりの閲読状況別)

